

選定基準別提案内容と事業実績の確認

施設名	大磯城山公園
指定管理者名	神奈川県公園協会・湘南造園グループ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（平塚土木事務所）

選定基準大項目	評価項目				審査（評価）の視点（C）	提案内容（D）	指定期間 令和4年度の事業実績（E）	所管課による課題分析等（F）	事業実績の確認方法（G）			
	選定基準中項目（A）	小項目（B）	配点	選定時の評価点					実績報告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(1) 指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	基本姿勢及び管理運営方針	5	4	指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方	○ 団体等の総合的な運営方針として、県民共有の財産としてのみどり・自然環境、伝統文化等をしっかりと次世代に引き継いでいくため、「これまで培ってきた地域や団体等との連携や管理運営実績を活かした社会環境の変化への的確な対応」「SDGsの理念へのコミットを強めていく」「県の重点施策を念頭に置いた適切な管理運営」に取組む。	事業計画どおり実施 ・提案された運営方針に基づき、施設を運営した。 ・ウィズコロナへの社会変化に対応し、公園利用者の安全を確保しつつ、運営を行った。 ・SDGsについて、各ゴール達成に向けた計画策定、SDGs積立資産を活用した運営の検討を行った。	・提案内容のとおり概ね適切に運営されており、今後も継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針	○ 公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針として「邸園文化の薫る魅力あふれる公園づくり」「交流と連携による地域活性化と湘南の邸園文化の発信」「地域を支える災害への備えと安全快適な公園づくり」に取組む。	事業計画どおり実施 ・誰もが使いやすい安全快適な公園づくりに努めた。 ・安全安心な公園管理の実施した。	・提案内容のとおり概ね適切に運営されており、今後も継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	○ 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針として、「平等な利用の確保」「利用者や地域住民等の声を反映した公園づくりの推進」「環境に配慮した管理運営」に取組む。	事業計画どおり実施 ・関係法令や利用ルール等を遵守し、どのような立場の方に対しても平等に利用していただける環境を確保した。	・提案内容のとおり概ね適切に運営されており、今後も継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等（委託先の選定方法、県内（地域）企業への委託の考え方）	○ 公園の特性を熟知した職員により、できるだけ直営で、きめ細やかな維持管理を行うことを基本とし、法令等に基づく業務、専門技術・資格等を要する業務等は委託することとし、県内企業への発注、高齢者の就労促進や障がい者の就労支援に資する業務もできるだけ委託をする。	事業計画どおり実施 ・地域企業への業務委託の優先的発注した。 ・地元非営利団体への継続的な業務委託を行った。	・提案内容のとおり適切に運営されており、県内企業、特に地域の企業を積極的に選定していると認められ、今後も継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
	(2) 施設の維持管理	都市公園施設及び植物の維持管理業務の実施方針	10	8	公園の特性と課題を踏まえた維持管理の考え方	○ 公園の特性と課題を踏まえ、「庭園美を維持するための高度できめ細やかな造園技術」「国登録有形文化財の確実な安全対策」「利用者や周辺の安全対策」「地域等と連携した防災対策」「周遊性の確保や魅力づくり」に考慮した維持管理を進める。 ○ 人力除草や水質浄化、トイレ清掃は管理基準以上の維持管理を行う。	事業計画どおり実施 ・日本庭園などで景観上重要な樹木の管理については、一級造園管理の資格を有する職人による高度な樹木管理を実施した。 ・市町村防災教育への参加した。 ・予防保全を基本とした施設の修繕を実施した。 ・トイレ清掃を毎日実施し、毎日2回の点検を行った。	・提案内容のとおり適切に管理しており、今後も継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					施設保守点検業務、小破修繕業務等の実施方針	○ 施設の老朽化に対し、県の長寿命化計画を基本に高頻度な保守点検や修繕を行い、予防保全を基本とした施設の長寿命化と安全を際し優先とした速やかな維持管理を行う。	事業計画どおり実施 ・毎日の園内パトロールでの施設安全確認や業者による定期保守点検などを確実に実施して、異常個所の早期発見、修繕を行った。 ・大規模な補修が必要なものについては、速やかに県に相談、報告し、立入禁止措置など安全を最優先とした対応を行った。	・提案内容のとおり、老朽化が進行している施設の修繕を積極的に行っており、今後の計画的に取組んでいくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
清掃業務、受付業務、警備業務等の実施方針					○ 利用者の安全・快適な公園利用実現のため、トイレや園内清掃、斜路の落ち葉などの清掃を徹底するほか、快適な水辺空間の効率的な清掃、近隣住民に配慮した公園周辺の清掃を行う。 ○ 両地区の周遊性確保、利用者の利便性向上のため、両地区で受付・接遇を行うこととし、地域の観光案内などへの対応や大磯ガイド協会による常駐ガイドを置き、利用者ニーズに幅広く対応する。 ○ 貴重な歴史遺産を確実に警備するため、監視カメラや人感センサーによる機械警備と警備員を配置するほか、火災発生時の初期消火のための消火器を配置する。	事業計画どおり実施 ・園内で落葉が堆積しやすい園路の清掃を徹底した。 ・接遇マニュアルに基づく接客対応、接遇研修、日常の接遇チェックを実施した。 ・昼間はスタッフが監視カメラで随時確認し、夜間は12台の人感センサーによる機械警備を行い管理休憩棟に警備員を配置した。 ・電気を使用する施設には消火器を配置し、迅速な初期消火に努めた。	・提案内容のとおり概ね適切に運営されており、今後も継続することが望まれる。 ・きめ細かな清掃管理を実施しており、今後も継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り	
				樹林地や草地管理、樹木、芝生、草花などの植物管理業務等の実施方針	○ 高度な造園技術を駆使して高品質な庭園美を維持するなど、邸園文化の拠点にふさわしい植物管理を行うほか、剪定などによる相模湾や富士山への眺望の改善やバラ園や菖蒲田など花のみどころづくりによる更なる魅力向上に取組むと共に、樹木匠による老齢木等の点検を定期的に行い、倒木などの事故を未然に防ぐ。	事業計画どおり実施 ・日本庭園などで景観上重要な樹木の管理については、一級造園管理の資格を有する職人による高度な樹木管理を実施した。 ・良好な眺望を確保するため、高木剪定を実施 ・専門家の指導を受けながら、きめ細かな手入れを継続し、必要に応じて土壌改良等を実施した。	・提案内容のとおり実施しており、今後も適切な管理を継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り	

評価項目					審査（評価）の視点 （C）	提案内容 （D）	指定期間 令和4年度の事業実績 （E）	所管課による課題分析等 （F）	事業実績の確認方法 （G）				
選定基準 大項目	選定基準中項目 （A）	小項目 （B）	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
I サービスの向上	(3) 利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用促進の取組	10	9	公園の特性や利用状況（繁忙期・閑散期等）、新しい生活様式などの社会状況に応じて、多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等（有料施設は除く）	○ 公園の資源を積極的に活用した利用促進として、邸園文化に触れ、親しむ場として新たに「（仮称）大磯ガーデンアカデミー」を開催するほか、「周辺施設の収蔵資料を活用した邸園文化の学習の場づくり」「スマートフォンを活用したセルフガイドシステムの導入」「町が管理する旧吉田茂邸地区との連携強化」「バーチャルリアリティによる公園体験」などを行う。 ○ 周辺地域との連携交流による利用促進として、新たに「明治記念大磯邸園など地域の邸園文化施設との連携」「ガーデンツーリズムと連携した利用促進」「サイクリストの誘致」「シェアサイクルを活用した町巡りルートの提案」などを行う。 ○ 平日や閑散期の利用促進として、「地元アーティストによる音楽会」「北倉ギャラリーの情報発信拠点としての活用」などを行う。	事業計画どおり実施 ・「大磯ガーデンアカデミー」のプログラムとして、バラ学習講座、庭園勉強会、お茶室「城山庵」での茶道教室を実施した。 ・「地元アーティストによるくつろぎ音楽会」を開催した。 ・大磯町観光協会や商工会等との協働により、シェアサイクルステーションを拠点とした邸園や観光スポット、名産品店等を巡るモデルルートの検討を行った。	・提案内容のとおり実施しているが、邸園文化の普及啓発講座などの継続に加え、スマートフォンを活用したセルフガイドシステム、バーチャルリアリティ公園体験の導入に向けた準備が望まれる。	○		○	・月例報告	
					有料施設における利用者増及びサービス向上に資する事業の実施方針、内容	○ 地域の観光振興のため、観光協会や国営明治記念大磯邸園などと連携しながら観光バス会社に働きかけるなど、旧吉田茂邸の駐車場を活用したバスツアーの誘致に努めるほか、観光バス事前予約制の導入や公園HPやSNSを活用した駐車場利用状況についてリアルタイムの情報を発信する。 ○ 自動販売機は、大磯町景観計画に順じた景観に配慮した塗装とし、サイクリスト用飲料やキャッシュレス対応などを行っていく。	事業計画どおり実施 ・今後整備される明治記念大磯邸園駐車場の相互利用について関係機関との調整を行った。	・提案内容のとおり実施しているが、観光協会等とも連携した「皇室ゆかりの庭園ツーリズム」の企画バスツアーを、大磯地域にも拡大するなど、バスツアーの誘致に努めてもらいたい。	○		○	・月例報告 ・聞き取り	
					多くの利用を図るために行う広報・情報発信の工夫等	○ 多様なネットワークを活用したPRによる集客を図るため、「国営明治記念大磯邸園でのPR」「ガーデンツーリズムの枠組みを活用したPR」「町立施設（鴨立庵、大磯港）でのPR」「地域のネットワークを活用した情報提供」などを行う。	事業計画どおり実施 ・パンフレット等の相互配架、相互リンクを実施した。	・提案内容のとおり実施しており、今後もガーデンツーリズム関連施設との連携による情報発信等を継続し、来訪者を増やしていくことが望まれる。				○	・月例報告 ・聞き取り
					公園の特性をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等	○ 利用者の利便性を高め、サービス向上を図るため、「城山庵」及び「管理休憩棟」でのサービス提供とお土産販売を行う。	事業計画どおり実施 ・「城山庵」において、抹茶やコーヒーなどの飲み物に加え、季節の和菓子や地産品などを提供 ・「管理休憩棟」において、クッキーや茶葉の販売を行った。	・提案内容のとおり実施しており、今後も利用者の利便性、サービス向上を図っていくことが望まれる。	○	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					利用料金の設定、減免の考え方（有料施設がある場合のみ）	○ 駐車場については、社会福祉法人等非営利団体が事業のために利用する場合や学校が教育活動として利用する場合、身体障がい者等が利用する場合など、ユニバーサルな対応を推進する観点から減免を行う。	事業計画どおり実施 ・身体障がい者等の利用料について、減免対応を実施した。	・提案内容のとおり実施しており、今後も継続していくことが望まれる。	○			○	・月例報告 ・聞き取り
					接客や利用者との対話、公園利用ルールの利用者への助言、指導等の考え方	○ 子どもから高齢者、障がい者、外国人等、誰もが安心・安全・快適に公園を利用していただけるよう、スタッフ全員が、利用者との双方向コミュニケーションを重視したホスピタリティ溢れる接客をする。 ○ 旧吉田茂邸地区では、NPO法人と連携した常設ガイドを置き、周辺観光案内も含めた接客対応機能を強化する。	事業計画どおり実施 ・旧吉田茂邸地区では、土日祝日は大磯ガイド協会による常駐ガイドを行った。	・提案内容のとおり適切に運営されており、今後も継続していくことが望まれる。	○			○	・月例報告 ・聞き取り
	利用者対応・サービス向上の取組	5	4	サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み等	○ 公園を利用されている利用者のみならず、これから公園を利用する可能性のある潜在的利用者を含め、「①ニーズや苦情を的確に把握」「②分析」のうえ、「③運営を改善」することで、「④利用者満足度の向上、新規利用者の獲得」を図る。	事業計画どおり実施 ・利用者満足度調査、イベント参加者アンケート等の実施した。	・提案内容のとおり、利用者ニーズの把握に努めており、今後も、公園に対するニーズを的確に把握しながら運営をしていくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り		
				外国人、障がい者、高齢者等誰もが円滑に施設利用するための、コミュニケーションにおける工夫及び必要に応じた支援の方針	○ 外国の方への多言語での対応に努めるほか、「ともに生きる社会かながわ憲章」の主旨を踏まえ、障がい者への合理的配慮、高齢者への配慮、子育て世代が安全・快適に利用できる環境を整え、ユニバーサルな対応を推進する。	事業計画どおり実施 ・ピクトグラムによる案内表示を行った。 ・制札等へのやさしい日本語の活用等による安全の確保を図った。	・提案内容のとおり、利用者にわかりやすい情報提供に努めているが、外国人との円滑なコミュニケーションに向け、翻訳機の導入等に努めてもらいたい。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り		
				神奈川県手話言語条例への対応	コミュニケーションボードの活用や筆談や大きな声で対応する用意ができていないことを示す「耳マーク」をパークセンターに掲示するほか、利用者への手話の普及啓発に取り組む。	事業計画どおり実施 ・視覚、聴覚、その他障がい者への意思疎通の配慮に取り組んだ。	・提案内容のとおり実施しており、今後も、より利用しやすい環境整備を継続的に進めていくことが望まれる。	○			○	・月例報告 ・聞き取り	

評価項目					審査（評価）の視点 （C）	提案内容 （D）	指定期間 令和4年度の事業実績 （E）	所管課による課題分析等 （F）	事業実績の確認方法 （G）			
選定基準 大項目	選定基準中項目 （A）	小項目 （B）	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(4) 事故防止等安全管理	日常の事故防止、緊急時の対応	10	9	指定管理業務を行う際の公園の特性を踏まえた事故防止等の取組内容	○ 日常の事故防止においては、想定されるリスクを事前に管理し、リスクの発生による損失を回避し、不利益を最小限におさえる「リスクマネジメント」の考え方を取り入れ、リスク抽出、分析・対策立案、実行、再評価により事故の未然防止を図る。	事業計画どおり実施 ・事故不祥事防止会議、定例主任会議等の実施した。	・提案内容のとおり実施しており、公園の特性を踏まえたリスクマネジメントを今後も継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					樹林地の過密化や巨木化等に起因する災害を未然に防止する点検等の考え方	○ 全体的に樹木の老齢化、高木化が進んでいることから、日常の巡視において、園路沿いや広場付近など、来園者の安全確保が重要な箇所を中心に、枯損木や枯れ枝の状況や病虫害の状況を確認し、必要に応じて、伐採や病虫害防除等を速やかに行う。	事業計画どおり実施 ・枯損木や枯枝、倒木の発生の可能性が高いエリアは特に重点的なパトロールを実施した。 ・病虫害であるカミキリムシの防除を実施した。	・提案内容のとおり実施しているが、計画的な樹林地管理による良好な利用環境の維持を今後も継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					事故・不祥事等の緊急事態が発生した場合や安全管理の妨げとなりうる事案を認知した際の対応方針（対応方針には、利用者に外国人や障がい者、高齢者が含まれていた場合を含む）	○ 事故・不祥事等の発生時には、人命を最優先として「クライスマネジメント」の考え方を取り入れ、被害の最小化、二次被害防止、速やかな報告・情報共有、復旧等事後対応、再発防止対策まで確実な業務フローにより対応する。	事業計画どおり実施 ・園内体制及びグループ代表本部の支援体制を確立した。	・提案内容のとおり実施しており、今後も、緊急事態発生時の体系的な対応や体制を継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					急病人等が生じた場合の対応 救急救命士等の配置、救命に関する職員研修等	○ 園内で急病人やけが人が生じた場合には、「安全管理マニュアル」に従い迅速に対応する。職員が病人の状況を把握した上で、病院や消防に連絡するほか、必要に応じて心肺蘇生やAEDの利用などの応急措置を施す。	事業計画どおり実施 ・園路・階段等での転倒、虫刺されやスズメバチ等毒虫刺され、熱中症等の状況に応じた対応方法を確認した。 ・近隣医療機関の情報把握と速やかな関係機関との情報共有体制を整備した。 ・普通救命講習、上級救命講習の受講防災訓練の中でのAED取扱い訓練を実施した。	・提案内容のとおり実施しており、今後も、現場での円滑な一次対応が図られるよう、取組を継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					新型コロナウイルス等の感染症に対する対応方針	○ 新型コロナへの対応については、「施設の管理・運営における対策徹底による利用者の感染防止」はもとより「利用者や周辺住民の理解促進」「職員の感染防止」を感染防止対策の柱として、感染防止の徹底を図りつつ、健康増進と憩いの場としての公園の管理運営を行う。	事業計画どおり実施 ・検温、風邪等の症状確認を行った。 ・接触確認アプリに導入呼びかけを行った。 ・参加者の連絡先を把握した。 ・マスク着用、こまめな手洗い消毒の呼びかけを行った。 ・職員に対して、感染症予防の徹底、健康状態の確認等を行った。	・提案内容のとおり実施しているが、今後、新型コロナウイルス感染症に係る特別な対応を行う場合は、マニュアルの活用による適切な対策の実施を期待する。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
	災害への対応 （事前、発生時）	5	4	異常気象（大雨、台風、熱中症アラート等）への対応方針（事前、初動、発生時、応急復旧時）	○ 大雨や洪水、台風などの風水害に対しては、事前の備え、初動から発生時、解除後の応急復旧・報告の各段階をタイムラインに沿って、迅速かつ適切に対応する。	事業計画どおり実施 ・テレビ及び気象庁や大磯町等からの情報収集を行った。 ・園内巡視、安全確認、注意喚起、周辺避難所等との情報共有を行った。 ・時点毎の県への報告を行った。 ・県の指示に応じた時間外体制の構築を行った。	・提案内容のとおり実施しており、今後も継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り	
				公園の「震災時対応の考え方」に示す初動体制等への対応	○ 地震発生時には県が示す「震災時対応の考え方」やグループ代表が整理したタイムライン等に沿って、迅速かつ確実な対応を行う。勤務時間外の参集にあたっては、本公園勤務の有無に関わらず、グループ構成団体の公園近くに居住する職員が参集することで、発生後30分以内を目標に、参集したスタッフによる初動体制を図る。	事業計画どおり実施 ・パトロール体制の確立を図った。	・提案内容のとおり実施しており、今後も継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り	
				大規模災害発生時の公園の特性、立地状況等に応じた災害対応の考え方（地域との連携、防災訓練、災害発生時の協力等）	○ 広域避難場所や津波避難場所に指定されていることから、大規模災害発生時には、住民の避難受入れなどが求められるため、高所に利用者や職員を非難させるなど、大磯町や周辺施設の管理者と連携に取組む。	事業計画どおり実施 ・「大磯城山公園の震災時対応の考え方」及び「県立都市公園等における災害対策活動指針」に基づく対応を確認した。	・提案内容のとおり実施しているが、今後は、大磯町や周辺施設の連携を具体的に進めていくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り	
	(5) 地域と連携した魅力ある施設づくり	地域との連携体制、取組	5	4	多様な主体（地域人材、自治会、関係機関）との連携、協力体制の構築等の取組内容	○ 大磯町や商工会議所、町内会等で構成される「大磯城山公園活用連絡協議会」と恒衛の管理運営、イベント、工事の状況等について報告、調整を行う。	事業計画どおり実施 ・大磯城山公園活用連絡協議会を開催した。	・提案内容のとおり実施しており、今後も継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容	○ 地域住民参加型の公園管理を推進するため、ボランティア制度「大磯城山サポーターズ」を立上げ、参加の環境づくりを進めていく。	事業計画どおり実施 ・「大磯城山サポーターズ」制度の立ち上げに向けた調査検討を行った。	・提案内容のとおり実施しているが、今後は、調査検討結果を踏まえた具体的な取組を進めていくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					周辺施設（他の公園・施設等）との交流・連携の内容	○ 国営明治記念大磯邸園、湘南邸園ツーリズム、富士・箱根・伊豆「皇室ゆかりの邸園」ツーリズムと積極的に広域連携を進め、地域活性化や観光振興に貢献していく。	事業計画どおり実施 ・パンフレット類の相互配架、相互リンクを行った。	・提案内容のとおり実施しており、今後も発展的に継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					地元企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容	○ 業務委託を行う場合には、今後も地域企業等への発注を優先的に行っていくとともに、地域雇用の確保、社会的ニーズへの対応といった観点から、シルバー人材センターや社会福祉法人、NPO法人等の地元非営利団体への業務委託にも配慮し、地域と連携した魅力ある公園づくりを行う。	事業計画どおり実施 ・地域企業への業務委託の優先的発注を行った。 ・地元非営利団体への継続的な業務委託を行った。	・提案内容のとおり実施しており、今後も継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り

評価項目					審査（評価）の視点 （C）	提案内容 （D）	指定期間 令和4年度の事業実績 （E）	所管課による課題分析等 （F）	事業実績の確認方法 （G）				
選定基準 大項目	選定基準中項目 （A）	小項目 （B）	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
Ⅲ 団体の 業務遂行能力	(6)	コンプライアンス、社会貢献	コンプライアンス、社会貢献	5	5	指定管理業務を実施するために必要な団体等の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況（労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む）	○ 諸規定類を整備し、法令遵守の徹底に取り組むとともに、施設設備の維持管理に関する法規についても、研修や講習会の受講、資格取得等を通じて理解を深め、安全な公園管理運営を図る。 ○ 労働基準法等の労働関係法規に基づき、就業に関する規程を整備しており、これらを適切に運用し安全で快適な労働環境を確保する。	事業計画どおり実施 ・労働時間の短縮、ワークライフバランスの確保、諸規定の整備と運用に取り組んだ。	・提案内容のとおり実施しており、今後も継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
						指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況	○ SDGs では、経済、社会、環境の三側面の調和が重要とされており、この認識も踏まえて環境分野の目標達成に向けて取組む。	事業計画どおり実施 ・樹林地の適正管理、事務所等の省エネ等に取り組んだ。 ・希少種保護、外来種防除等に取り組んだ。 ・発生材の園内活用を図った。	・提案内容のとおり実施しており、今後も取組を拡大、継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
						法定雇用率の達成状況等、障害者雇用促進の考え方と実績	○ 障害者雇用状況については、神奈川県公園協会と湘南造園株式会社は法定雇用率を達成している。 ○ 障がい者雇用を行う企業等への積極的な業務発注を推進するため、調達方針を定め、実績を公表している。	事業計画どおり実施 ・全ての構成法人が、法定雇用人数を充足した。 ・神奈川県公園協会 2.64% ・湘南造園 3.64%	・提案内容のとおり実施しており、引き続き、法定雇用率の達成に向けて、適切な対応に努めてもらいたい。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
						障害者差別解消法に基づく合理的配慮など、「ともに生きる社会かながわ憲章」の主旨を踏まえた取組	○ 障害者差別解消法及び「ともに生きる社会かながわ憲章」の制定主旨を踏まえ、合理的配慮の提供や広報啓発・研修等に取り組む。	事業計画どおり実施 ・職場内研修や県の「障害者理解促進研修」を実施した。	・提案内容のとおり実施しており、今後も継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
						神奈川県手話言語条例への対応	○ 聴覚障がい者の方の安心安全な公園の利用環境を確保するために、意思疎通、情報取得のための重要な手段である手話を使いやすい環境づくりに努める。	事業計画どおり実施 ・体制づくりに取り組んだ。 ・研修の実施 ・コミュニケーションツールの設置	・提案内容のとおり実施しており、今後も継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
						社会貢献活動等、CSRの考え方と実績、SDGs（持続可能な開発目標）への取組	○ 本公園では主に、「大磯ニューツーリズムで心身共にリフレッシュ」「邸園文化を伝える「おもてなし」の空間づくり」「公園の観光拠点化」「地域と連携した災害への備え」に取り組む。	事業計画どおり実施 【公園協会】公園管理事業や公益事業を通じた取組を実施した。 【湘南造園造園株式会社】小学校の校庭化支援など社業を通じての取組を実施した。	・提案内容のとおり実施しており、今後も継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
	(7)	事故・不祥事への対応、個人情報保護	事故・不祥事への対応、個人情報保護	5	4	募集開始の日から起算して過去3年間の重大な事故または不祥事の有無ならびに重大な事故等があった場合の対応状況及び再発防止策構築状況	○ 過去3年間の重大な事故・不祥事はない。	・当該年度に重大な事故、不祥事はなく、適切に業務を遂行した。	・適切に業務を実施しており、引き続き、重大な事故や不祥事を起こさないよう努めてもらいたい。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
						個人情報保護についての方針・体制、職員に対する教育・研修体制及び個人情報の取扱いの状況	○ 公園利用者からの信頼を得るためには、利用者等の個人情報を適切に管理することが必要不可欠であるとの認識のもと、「個人情報保護方針」を公表し、諸規程の整備や職員に対する研修の実施により、個人情報の適正な保護に取り組む。	事業計画どおり実施 ・個人情報等の情報管理に関するチェックリスト等に基づき、鍵付き書庫等での厳重な管理、シュレッダー等による確実な廃棄等、厳格な管理を行った。	・提案内容のとおり実施しており、今後も個人情報の適正な保護を継続していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り

※「事業実績の確認方法(G)」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和4年度の事業実績 (E)」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。

選定基準別提案内容と事業実績の確認
(施設写真)

施設名	大磯城山公園
指定管理者名	神奈川県公園協会・湘南造園グループ
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（平塚土木事務所）

※施設の概要が分かる写真を3～4枚程度掲載



吉田茂邸(旧吉田茂邸地区)



吉田茂像(旧吉田茂邸地区)



展望台(旧三井別邸地区)



もみじライトアップ(旧三井別邸地区)